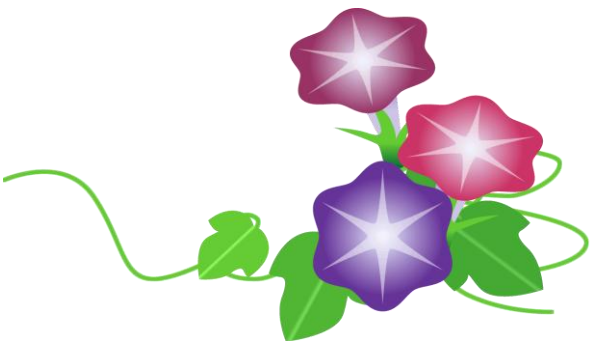


円満通信 第22号



独立系FP法人・株式会社円満プランニング

発行責任者：松本 真由美

〒550-0005

大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル4F

TEL：06-6536-7700

FAX：06-6536-7705

e-mail：info@em-planning.com

ホームページ：http://em-planning.com/



弊社へのアクセス情報の
QRコードです

こんにちは。ファイナンシャル・プランナーの松本真由美です。

「暑いですね...」という声が、全国的に挨拶代わりとなっていますね。

7/10現在、山梨県の甲府・勝沼、群馬県の館林や岐阜県の高岡などでは気温が38度を超えています。まるで高熱が続いているかのようです。東京も4日連続の35度を超える猛暑日となっています。これは統計開始以来4回だけで、1位タイの連続記録です。熱中症や夏バテにはくれぐれもお気を付け下さい。

早い梅雨明けでダムの水が心配だし、野菜も高温の影響も気になります。この夏は水不足、野菜高騰、節電を覚悟しておく必要がありそうですね。また、エアコン、ビール、清涼飲料水、冷えピタ...など、猛暑関連銘柄の株価上昇には、期待できるのかな？

そんなことを考えながら。今月も、円満通信にお付き合い頂ければ幸いです。



今月の似顔絵「七夕まつり」

おかねと賢く付き合うためには④

【FPまっちゃん】の気まま連載・第4回。今回は「**ボーナスでやっていいこと・悪いこと**」です。

夏のボーナスがそろそろ支給される頃ですね。この夏は久々に「ボーナスがアップした♪」という方もおられるのではないのでしょうか？ 皆さんが一生懸命働いて、労働組合が交渉を頑張って得た対価。「どうぞご自由にお使い下さい！」と言いたいところですが、FPの私としては、「ちょっとひとこと言わせて下さい！」と言いたくなる場面があります。そんな「やっていいこと・悪いこと」をお伝えしたいと思います。

～やっていいこと～

①いつも節約を頑張っている人は、増えた分くらいは好きに使って息抜きも。

いつも節約を頑張っている人限定です。節約一辺倒で家庭内がギスギスしていませんか？そして、「増えた分くらい」がミソですよ。全部好きに使うことは「単なる浪費」といい、癖が付くと、後々引き締めるのが大変になります。

②見聞を広めるための自己投資。

仕事に活かせる資格を取得する、スキルアップのために有料のセミナーに参加するなど。

身についた知識やスキルは一生の宝物になるでしょう。金融商品を購入することだけが投資ではありません。

③ボーナスの1～2割程度を使って、少額から投資を始めてみる。

今後の貯蓄計画に支障がない少額から始めてみましょう。インフレの進行、勤務先の確定拠出年金導入などで「投資なんて関係ないよ」では生きづらい世の中になりました。10万円もあれば複数の金融商品に分散投資が可能です。

～やってはいけないこと～

①ボーナスを見込んだ買い物・ローン返済

ボーナスは会社の業績により変動します。ボーナス払いが前提のローン計画、ボーナスで毎月の赤字を補填しているという暮らしには、危険がいっぱいです。

②一気に投資につぎ込む

投資に興味を持って始めるのはいいことですが、「購入時期を分散する」「金融商品を分散する」は鉄則です。

③普通預金に預けっぱなしにする

普段使いの口座に「とりあえず預けておこう」という方に限って多い「お金って、いつのまにか使ってなくなってるのよね」。使う口座と、貯める口座は分別管理をいたしましょう。

気付いていました？ 私たちの暮らしの変化

スーパーに買い物に行く方は、敏感にお気づきだと思うのですが、「特売」と書いた小麦粉の値段は、以前の定価より高くなり、今月からは食パンやハムも値上がりしています。

また、昨年より厳しくなりそうな猛暑の中、電気代の値上げが痛手になりそうな予感です。アベノミクスが掲げる「年2%の物価上昇目標」とは、日本経済にとっては好ましいことではあるのですが、私たちの身近な家計にとってはどうでしょう？

働き世代にとっては、たとえ収入が増えても、税金・社会保険料もそれに伴い増え、様々な負担増に耐えられるものでしょうか？

高齢者にとってはどうでしょう？ 厚生労働省の調査(2011年)では、年金をもらう高齢世帯の6割近くは、年金以外の収入がありません。その頼みの綱の年金がいよいよ目減りする時代に入ります。受給額減額と併せての物価上昇はダブルパンチを受けます。

こんなことを書いて、読者の皆さんを脅すつもりはけっしてないのですが。

自分自身が現状を知り、出来ることから対策を考えることが大切です。そして、2013参院選も間近となりましたが、安倍政権は、各候補者は、この現状を踏まえて、何をどう改革しようとしているのか耳を傾けてみてはいかがでしょうか？



家計の負担増	税金・社会保険料	税金	消費税は2014年4月～8%、2015年10月～10%に引き上げの予定。 2013年1月1日以降に支払を受ける給与等から復興特別所得税が源泉徴収される。 【算式】 復興特別所得税額 = 基準所得税額 × 2.1%
		年金	国民年金保険料は280円/月ずつ、厚生年金は0.354%(労使折半)ずつ、17年度まで毎年引き上げ。
		介護保険料	平均4,972円(2012年度)が、2025年には6,800円～8,200円程度に上昇する見込み。(65歳以上)
		電気代	東京電力は昨年9月と比べて平均8.46%値上げ。
物価など		小麦粉	政府が民間に売り渡す輸入小麦の価格を4月から平均9.7%値上げ。
		保険料	2013年4月～自賠責保険値上げ(平均10～15%程度)。 2014年7月～地震保険料15.5%引き上げか？
受給減		年金	2013年10月に1%、2014年に1%、2015年4月に0.5%減額。
		生活保護	2013年8月～段階的に最大10%減額。

公的年金運用益が過去最高に

公的年金の積立金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は2日、2012年度の運用実績が11兆2222億円の黒字で、自主運用を始めた2001年度以降で最高になったと発表した。

安倍政権発足後の第4四半期(13年1～3月)の実績が、アベノミクスによる株高などで7兆6273億円の黒字となったことが大きく影響した。12年度は、GPIFの全ての保有資産が運用益を出した。具体的には、外国株式3兆7620億円▽国内株式3兆3314億円▽国内債券2兆1263億円▽外国債券1兆8218億円——など。

GPIFは、厚生労働省の委託を受け、厚生年金と国民年金の保険料の積立金を株や債券で運用しており、運用益は年金給付に充てられる。毎年度の実績は変動が大きいが、厚労省は「大幅な収益は年金財政の安定につながる」と歓迎している。

自主運用開始(平成13年度)からの収益額と収益率の推移
年金積立金管理運用独立行政法人HPより



参考: 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)ホームページ <http://www.gpif.go.jp/index.html>

【円満通信・第22号】を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

株式会社円満プランニング 松本 真由美